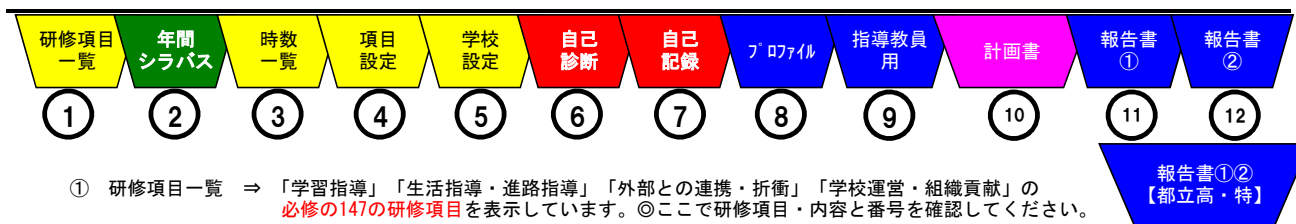


# 1年次・期限付研修支援ファイルの説明 (年間シラバス・自己診断)

各教育委員会等へ提出する書類



① 研修項目一覧 ⇒ 「学習指導」「生活指導・進路指導」「外部との連携・折衝」「学校運営・組織貢献」の必修の147の研修項目を表示しています。◎ここで研修項目・内容と番号を確認してください。

② 年間シラバス ⇒ 4月から3月までのモデルプランを設定しています。  
 ◎学校の実態に応じて、研修項目の変更・追加は可能です。

(重要) 毎月の入力が必要です

③ 時数一覧 ⇒ 月別、項目別に予定時数と実施時数を表示しています。  
 ◎研修時数の管理をします。

④ 項目設定 ⇒ 研修項目の設定状況を表示しています。設定の回数及び未設定の項目が分かります。

⑤ 学校設定一覧 ⇒ 学校独自で設定し、追加した研修内容等をここに表示しています。

⑥ 自己診断 ⇒ 7月と1月にこのシートで自己診断を行います。◎4つのカごとにA~Dで入力します。

⑦ 自己記録 ⇒ 7月と1月の自己診断のときに、研修の成果等を記録します。◎自己の成長や力量の伸びについて

⑧ プロファイル ⇒ 7月と1月の自己診断・自己記録の結果を一覧で表示します。

⑨ 指導教員用 ⇒ 7月と1月の自己診断の結果を確認するためのものです。

提出する書類 { ⑩ 実施計画書 ⇒ 5月に【都立学校以外は】区市町村教育委員会・各出張所に提出する  
 【都立学校は】東京都教職員研修センターに提出する

\* 「はじめに」の必要事項を入力すれば自動的に完成

{ ⑪⑫ 実施報告書①② ⇒ 2月に【都立学校以外は】区市町村教育委員会・各出張所に提出する  
 (都立高・特は⑪に⑫を含む) 【都立学校は】東京都教職員研修センターに提出する

\* 自動的に完成(校外における研修・学校長所見を除く)

※実施見込みで「3月」分は含めておくこと。

# 月の年間シラバス 説明と作成方法

\*このシラバスシートは5年間の保管

モデルプランで配布しています。  
各校の行事予定等を考慮して、独自の年間シラバスを作成してください。  
「研修項目一覧」に示した147項目の研修項目は必修です。

予定時数はここで確認する  
事前提出と月末提出で指導教員・副校長が押印

1. 学習指導力		①②③授業に関する研修予定 (事前・実践・事後、他の教員の授業観察、授業基礎)	17時間	副校長確認		指導教員確認			
		授業以外の研修予定 (生活・進路指導、外部との連携・折衝、学校運営・組織貢献)	12時間	印		印			
NO	研修項目	時数	主な研修内容 ※必要に応じて関連する内容も取り	実施日 何日に実施したか	実施校時 何校時に実施したか	実施時数	関係資料	テキスト	サポート (OJT)
①事前・実践・事後									
	研修項目一覧 NO 28~67から選択								
	研修項目一覧 NO 68~87から選択								
						1.0			
②授業参観	73 授業(研修) 国語②	1.0	「話す・聞く・書く・読む」を重視した授業づくり				教科書	47-52	学年主任
	研修番号 73 を入力すれば、 研修項目 / 時数 / 主な研修内容 / 関連資料 / テキスト / サポート が自動に表示されます。(ない場合は空欄のまま)								
③授業基礎	研修項目一覧 NO 1~27から選択								
	ノート指導の在り方	1.0	社会・理科のノート記入の約束				教育計画		主幹
	研修項目一覧 NO 88~110から選択				外				
授業以外の研修	研修項目一覧 NO 111~127から選択				外				
	研修項目一覧 NO 128~147から選択								

入力するのは  
①②③④  
色の付いたところだけ  
①はモデルプランで設定済み

実施する校時を数字で!  
例) 5校時の場合は 5 と入力

1単位時間 → 1.0  
1単位時間と半分30分 → 1.5  
1単位時間の半分 → 0.5

**重要**  
放課後(週時程外)、長期休業中に実施した場合は、「外」と入力  
\*間違えると実施時数の集計ができません!

# 自己診断の方法 説明と作成方法

例

学習指導に関する自己診断

**留意点**

自己診断は自己の力量を向上させるために行うものです。  
そのため、診断結果について**指導教員と一緒に確認**しましょう。  
また、2年次研修の目標設定のため、学年末(3月)に**副校長と**  
診断結果・課題について話し合います。

A 十分達成している

B ある程度達成している ← 到達基準

C もう少しで達成する

D まだ不足している

分類 教師が身に付けるべき力	到達目標 (基本的な行動指針)	7月末	1月末	自己診断の視点(例) ●指導教員から指摘・助言されたことも含む	関連
・授業をデザインする力 (学習指導の計画)	学期・月ごとの指導内容を事前に把握する ① 週案簿(週の指導計画)で系統的計画を立てる ② 授業の具体的な進め方を学習指導要領に基づき確認する	B		③ 学期の始めの前に、教科書の内容を確認している ④ とに、指導計と予定時数を確認している	各教科等の年間や各学期の指導計画
・ねらいに沿って学習を進める力 (ねらいと展開)	各単元目標を確認する ① 指導要領に基づき、基本的な内容を把握する ② ねらいに迫るための授業展開を定める			③ 教えるべき要点を確実におさえて授業を進めている ④ 児童・学習のねらいをわかりやすく伝えている	指導要領 単元目標と構成 学習指導要領 指導書 単元・展開・まとめ 1単元時間の流れ
・児童の興味を引き出し、個に応じた指導をする力 ・主体的な学習を促すことができる力 (実践的な指導技術)	児童一人一人に学習への意欲・関心をもちたせる 指導する学習内容について事前分析・解釈をしている 指導方法・形態等を工夫し、わかりやすい授業を行う			③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ・ほめる、励ますなど、個々への声かけや働きかけをしている ・児童の反応や意見を踏まえながら授業を行なっている ・教科書の内容の確認・理解に時間をかけている ・学習内容を補足する資料等を準備している ・ねらいに応じて発問、指示、説明を工夫している ・内容に応じて板書や主体的な学習活動を工夫している	意欲・関心、態度 授業の導入 教材・題材の解釈・分析 基本的な授業技術

## 自己診断の流れ

4月...到達目標の確認

年間シラバスに基づく校内研修

7月...第1回 自己診断

診断結果について指導教員と相談  
個別課題を踏まえた研修の計画づくり  
<8月~12月>

8~12月 改善への取組

1月...第2回 自己診断

診断結果について指導教員と相談  
個別課題を踏まえた研修の計画づくり  
<2月~3月>

2~3月 改善・まとめ

3月...2年次の目標設定  
\*副校長との面談

診断結果について副校長と確認・相談  
2年次研修の内容について計画を立てる



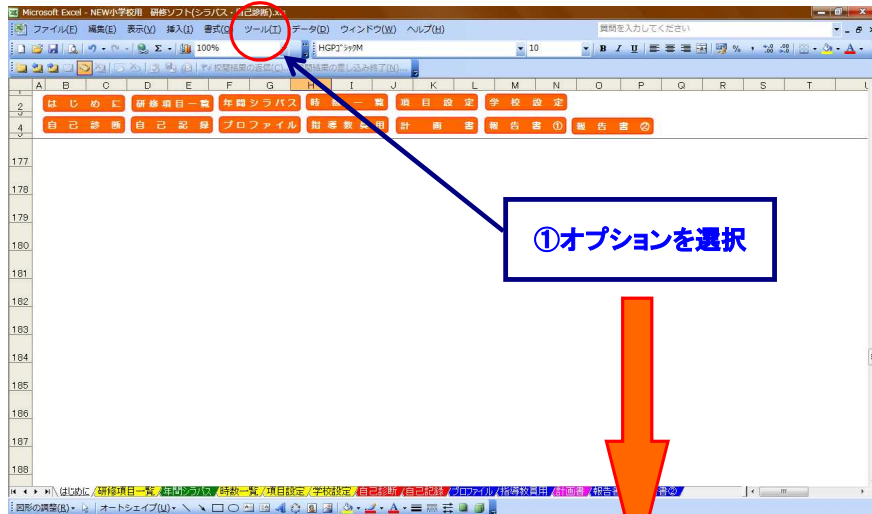
2年次研修の開始

到達目標の設定  
年間シラバスの確認

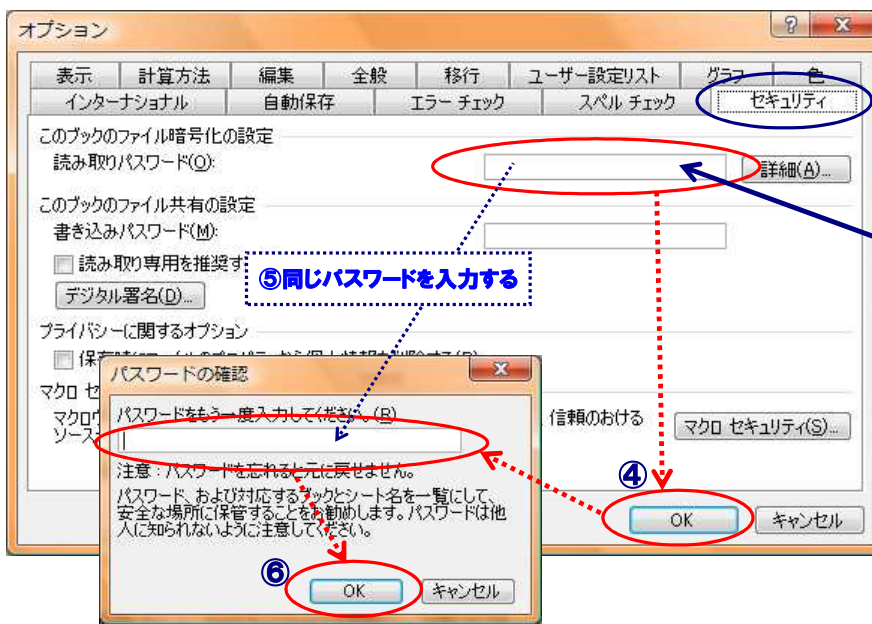
# パスワードの設定

個人情報を含むので、パスワードをかけて管理しましょう

※以下は、エクセル2003の例です。お使いのバージョンに応じて設定方法が異なります。



① オプションを選択



② クリック

③ パスワードを入れる

- \* 忘れないこと
- \* 指導教員と共有すること
- 参考/学校の電話番号など

⑤ 同じパスワードを入力する

④

⑥